講義名	基礎簿記					授業形態	
担当教員	早川　翔	開講期・曜日・時限	後期 月曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	１年生	ナンバリング・コード	ACC140

主題と概要

簿記とは、企業経営の過程や結果を会計的に記録する技術です。
簿記に対する理解を深めることで、企業経営において発生する取引や金銭の流れを知ったり、企業の財政状態が良いかどうかを把握できます。
したがって、簿記の知識は企業経営に関わる経営者だけではなく、企業に対して投資・融資を行う投資家や銀行員にとっても必要だと言えるでしょう。
本講義は、複式簿記に関する基礎的な内容を理解し、企業経営に関わる会計学の考え方を習得することを目的とします。

到達目標

商学部共通のディプロマポリシーである「供給者と生活者の複眼的視点に立ち、マネジメントの諸問題を解決する」を踏まえ、下記の3つの到達目標を設定しています。
(1)簿記の基本的な考え方である仕訳や精算表の作成方法を学修し、経営における諸活動が財務数値にどのように反映されるかを理解できる能力を身につける。
(2)日商簿記検定初級の合格に必要な能力を身につける。
(3)会計の専門科目や隣接分野(経営・ファイナンス等)の科目の学修に際して役立つであろう基礎的な知識を身につける。

提出課題

毎回の講義で練習問題を実施します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

次回の授業の練習問題の解説を行います。

評価の基準

期末テスト（100%）で評価を行います。

履修にあたっての注意・助言他

・簿記は積み重ねが重要な学問なので、休むと次回以降の内容がわからなくなるります。
・授業では計算問題を扱うことがあるため、電卓が必要です。

教科書

・使用しない.				

参考図書

・なし.				

その他

授業計画

第1回 簿記とは何か
予習内容：簿記について調べ、簿記を学ぶ意義について自分なりの考えをまとめておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第2回 貸借対照表と損益計算書
予習内容：貸借対照表と損益計算書ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第3回 仕訳と転記
予習内容：仕訳と転記ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第4回 商品売買取引①：三分法と分記法
予習内容：三分法と分記法ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第5回 商品売買取引②：掛けや返品
予習内容：掛けや返品ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第6回 現金預金
予習内容：現金預金ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第7回 手形と電気記録債権
予習内容：手形と電気記録債権ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第8回 有形固定資産、未収金・未払金
予習内容：有形固定資産ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第9回 その他の取引と前半のまとめ
予習内容：第８回までの資料を読み、復習しておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第10回 決算手続とは
予習内容：決算手続ついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第11回 現金過不足、減価償却、貸倒引当金
予習内容：減価償却とは何かついて調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第12回 売上原価の算定と消費税
予習内容：売上原価とは何か調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第13回 前払や前受、未払や未収の処理
予習内容：前払、前受、未払、未収とは何か調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第14回 精算表の作成
予習内容：財務諸表とは何か調べておく（120 分）
復習内容：講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）

第15回 後半のまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目が定める目標は、本学経営学科の共通DPに貢献する。これらの目標を達成することで、企業経営を行う上で発生する取引の会計学的な側面について知ることができる。このような知識は、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案に役立つ。また、会計コースのDP①と②にも貢献する。目標達成により、DP ①で提示されている企業の財政状態、経営成績を分析する上での初歩的な知識を身につけることができる。また、目標(3)の達成により、DP ②で提示されている企業が直面する問題や企業の強みを発見した経営戦略の構築に対して貢献できるからである。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

プリント資料
　毎回の講義で使用します。

実務経験の有無及び活用

備考